

節水実践開始!

できることから始めましょう。 ライフスタイルにあった節水。

節水とは、必要な水まで使わずガマンすることではなく、ムダなく、効率よく水を使うことです。ここでは、生活の場面に応じた節水の工夫を紹介します。

また、それぞれの場面で役に立つ節水グッズ、熊本県民のみなさんが実際に行っている節水アイデアもご紹介します。

すべてに取り組む必要はありません。家族構成や家族の年齢などにより、取り組めるものと取り組めないものがあります。取り組みやすいもの、あなたの暮らしに合うものに☑（チェック）を付け、実践してみましょう。

節水実践その1

まず

節水を習慣にしよう

水を使わない日はないほど、私たちはあらゆる生活の場面で水を利用しています。だからこそ、まず節水の習慣を身に付け、水をできるだけムダなく使う工夫が大切です。

特におすすめ

蛇口はこまめに閉める・出しすぎない

❗ 流しっぱなしにすると1分間で約6ℓの水が出ます。
5分間流しっぱなしをやめると、約30ℓの水が節約できます。
また勢いよく出すと1分間で約12ℓの水が出ます。

特におすすめ

このマークがついた節水行動は、節水効果が高く、かつ取り組みやすい、特におすすめの行動です。

おすすめ

このマークがついた節水行動は、節水効果が高いか、もしくは取り組みやすい、おすすめの行動です。

お役立ち節水グッズ



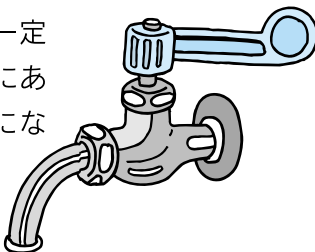
★おすすめ★

節水コマをつける

！節水コマとは、蛇口に取り付け、出る水の量を調整するもので、全開にしたときの水量は普通コマと変わりませんが、開き具合によっては最大50%の節水効果があります。
市町村によっては、希望者に無料で節水コマを配布しているところもあります。
(市場価格:100円/個~)

節水ハンドルをつける

！水道の栓に取り付け、栓を開くと一定のところまでハンドルがうしろの壁にあたり、必要以上に水が出ないようにします。
(市場価格:700円~)



熊本県民の知恵袋



水を使う場所に、蛇口をこまめに、また、しっかりと閉めるようになど張り紙などをして常に節水に心がけています。

レバー式の蛇口の場合、流しや洗面台の下の元栓を締めかげんにしています。

！レバー式の場合は節水コマが設置できませんが、元栓があれば水量調節ができます。

レバー式の蛇口で、蛇口近くの突起とレバーに輪ゴムをかけ、ゴムの弾性でレバーが全開にならないようにしています。



お役立ち節水グッズ



このマークのあるところでは、それぞれの生活の場面で役に立つ節水グッズの用途やおおよその市場価格をご紹介します。

熊本県民の知恵袋



このマークのあるところでは、熊本県民のみなさんが実践している節水アイデアをご紹介します。「へえ、こんなアイデアがあるんだ!」と関心するアイデアがいっぱいです。あなたの暮らしに合うものがあれば、ぜひ実践してみてください。